

自動車用フィルムのウエアブロック(東
京)

一 関

EV対応へ新工場開設

自動車用フィルムなどを製造するウエアブロック・アドバンスト・テクノロジー



ウエアブロック・アドバンスト・テクノロジーの新工場

一(東京都、資本金1億円、島田康太郎代表取締役)は、一関市東台に新工場を開設した。電気自動車(EV)の需要拡大に対応し、将来的に生産能力を倍増させる。

一関東工業団地の現工場が手狭になったことから団地内の近接する建物を改修し、移転した。新工場は鉄骨造り平屋で床面積8400平方メートル。欧米に供給しているEV向け内外装フィルムの生産態勢を強化し、特殊加工設備を導入した。投資額は約3億5千万円。今月中の稼働を見込む。

現工場の年間供給能力は

約400トで、引き続きカーナビタッチパネルやエンブレムなど内外装に使用する加工フィルムを生産する。従業員は約30人で事業拡大に合わせ増やす予定。

島田代表取締役は「自動車業界において100年に1度の変革の波をキャッチし、一関の地から新しい物をつくり出していきたい。雇用も含め、地元に貢献していく」と話す。